

「大高ジャーナル」創刊記念インタビュー

「眠れる獅子」奄美の魅力 高校生目線で伝えて

新聞同好会では、「大高ジャーナル」創刊を記念して、奄美を代表する地域情報誌『ホライゾン』編集長の浜田百合子さん(インタビュー)を行った。浜田さんからは、奄美の魅力発信するやりがいと、新聞制作の心構えなど長時間にわたり貴重なお話をいただいた。

Q ホライゾン創刊のきっかけは何だったのですか？
A 当時、私は結婚を機に初めて奄美に足を踏み入り、奄美の魅力を発信するやりがいと、新聞制作の心構えなど長時間にわたり貴重なお話をいただいた。

でも、来てみたら海はもうろん、奄美の美しさに感動しました。私には、雑誌編集の経験があり、夫は出版社のカメラマンだったこともあり2人で「何か奄美の情報誌を作りたいね」という話になりました。でも、その当時は奄美に情報誌が存在せず土台となるものが無かったので本当に大変で

「見えないもの」を明らかにしたいと思いましたが、例えば、奄美独特の地理、歴史、文化、こういうことを知らない人達に伝える、積極的に奄美の魅力を都会に発信したいと思って

「ホライゾン」というタイトルの由来なんですけどね、このタイトルを決める時に「奄美群島全体に平等

にあるものって何だろう」と話になったんですよ。そして「群島のどこからでも見える水平線だ」となって、「ホライゾン」ってなったんです。



奄美群島の情熱情報誌『ホライゾン』編集長 浜田百合子さん

1953年東京都文京区生まれ。昭和51年東京女子大学文学部卒業。出版会社に勤務。1981年結婚。美大卒業後、美大で教員として勤務。1995年、美大で「奄美の魅力を伝える」をテーマに、奄美の魅力を伝えるための情報誌『ホライゾン』の編集長に就任。2014年に休刊し、電子書籍化された。

「ホライゾン」というタイトルの由来なんですけどね、このタイトルを決める時に「奄美群島全体に平等

「ホライゾン」を指示しながら、情熱的に奄美の魅力

「ホライゾン」を指示しながら、情熱的に奄美の魅力

「ホライゾン」を指示しながら、情熱的に奄美の魅力

「ホライゾン」を指示しながら、情熱的に奄美の魅力

論説

世界自然遺産登録 高校生も郷土の自然を守る担い手になろう

今年5月4日、IUCN(世界自然保護連合)が「世界自然遺産登録延期勧告」を行ったという報道に接し、奄美大島に住む私たちは大きな衝撃を受け、世界遺産登録のハードルの高さを目の当たりにした。

勧告では、奄美の自然の「生態系」「生物多様性」など自然そのものには高い評価を維持しつつも、推薦地の具体的な選定と、自然の保護管理の在り方に課題があるとされた。

現在、奄美大島では希少種を襲う

野生化した猫(ノネコ)に関する問題や、外来種による生態系への影響が危惧されている。今回の延期勧告の背景にはこれらの現状が生み出した自然保護に対する持続可能性への懸念が挙げられる。

私たちは地元で学ぶ高校生として、勧告をどのように受け止め、課題の解決のために動くべきなのだろうか。

2005年に世界自然遺産登録された北海道の知床半島では、1977年から、現在で言うナショナルパーク

「大高ジャーナル」が独自に行った大島高校生生徒への意識調査では、

「大高ジャーナル」が独自に行った大島高校生生徒への意識調査では、

「大高ジャーナル」が独自に行った大島高校生生徒への意識調査では、

「大高ジャーナル」が独自に行った大島高校生生徒への意識調査では、

「大高ジャーナル」が独自に行った大島高校生生徒への意識調査では、



ホライゾン創刊号の表紙

「大高ジャーナル」創刊号の表紙



新聞同好会 部長 吉永竜巳(2-1) 小宿

大高ジャーナル 創刊あいさつ

【新入部員募集！】 いっしょに次の卒業特集号を作りませんか？ 特に1年生。自分の記事が紙面になると感動です。創刊号を読んで関心をもった方は、近くの部員に声をかけて下さい。

奄美と西郷の歴史

西郷松跡

奄美と西郷隆盛の歴史探しに

「NHKの大河ドラマ『西郷どん』(せごどん)がブームだ。その中で、西郷隆盛が今から159年前の1859年(安政6年)に、薩摩藩の命令で奄美大島に潜伏し、奄美大島の龍郷の地で、愛加那(愛子)とともに約3年を暮らす。奄美大島に住んでいる私たちが、その歴史についてあまり知識がなく、ドラマから初めて知ること多かつた。そこで私たちは、身近にある「奄美と西郷」の歴史の舞台を実際に訪ねて、調査することにした。今回は、西郷隆盛が、初めて奄美に上陸したときに船のとも綱を結んだ「西郷松」のあった場所(龍郷町阿丹崎)を訪ねた。

3代にわたって松を守りつづけ

龍郷町役場から車で5分ほど龍郷湾沿いを龍郷小学校方面に進むと龍郷町久場



西郷松本舗 岩崎晴海さん

にある「西郷松跡地」を訪れることができる。そこには、かつて西郷松があった場所に記念碑があり、その敷地にはお店「西郷松本舗」がある。銘菓「西郷松せんべい」等を製造販売しているお店だ。

私たちはそのお店の御主人の岩崎晴海(いわさきは)



かさんとお話をうかがうことができた。岩崎さんの話によると、今は跡地のすぐ横に道路があるのだが、西郷さんが西郷松に船を結



いも一れ奄美! 魅力発掘 Vol.1

そのため、相撲は奄美大島を支えてきた伝統文化といえる。

また、奄美大島が「日本一土俵の多い島」ということをご存じだろうか。各集落は必ずと言っていいほど土俵があり、その数は島内で約120

奄美といえれば相撲

〔重信・林・森山〕

毎年9月になると、奄美大島の各集落で五穀豊穰を祈願した豊年祭が開催される。島唄や踊りなど様々な余興が催される中、一際盛り上がりを見せるのが、豊年相撲である。子ども達の成長した姿を見せる前相撲や初土俵(1歳になった男の子の土俵入り)に始まり、集落の若者達が本気でぶつかり合う中相撲、後相撲(決勝戦)と、豊年祭の大半は相撲に費やされる



初土俵の様子。諫山洋一さんと、息子の諫山大洋君(現小学校1年生) 嘉鉄集落の豊年祭にて。



お店の入り口に「西郷松跡」と「西郷翁上陸の地」記念碑がある。記念碑からは、西郷が乗った黒糖運搬船「福徳丸」が停泊した龍郷湾が美しく見える。文献では、西郷は紋付袴姿で大男だったという。

んだときは道路がなく、すぐ浜となっていたという。岩崎さんはこの地で西郷松を見守って3代目。岩崎さんによると、松は樹高18m、幹の周囲は4mという

大木だったが1998年頃から害虫の被害が進み、樹木医による治療をしたり、土壌改良を行うなど様々な手立てを講じたが、2011年に「立ち枯れ」と診断され伐採された。



「西郷松」(リウキヤマツ)が、害虫の被害を受けて、治療が始まるこの写真。店の前にせり出し松の大きさを感ずる。

西郷松の歴史から生まれた奄美銘菓

いの実入り 岩崎さんは畑から収穫してきたばかりのほのかなのサトウキビを総て、キビユースを作った。甘みのおせさはさわやかで清々しい味わい。お店でんべいで西は1杯100円で頂ける。



現在お店では、西郷松にちなんだ銘菓「西郷松せんべい」や、ピーナッツに黒糖を絡めたお菓子「まめぼっくり」(それぞれ108円税込)などを買うことができる。また、100円でサトウキビ100%のキビユースもいただける。

「西郷松せんべい」は、山にイノシシ狩りに行った時、しいの実を拾い、焼いて食べたという逸話からヒントを得たお菓子だそう。サトウキビは一般的に栽培されているサトウキビと異なり、香りと風味に優れた「太芋種(たいげいしゅ)」という品種であるという。

「まめぼっくり」は奄美の昔ながらのお菓子「がじゃまめ」を何度も試行錯誤しながら現代風の味にしたところ年々口コミなどで注目が広がり、北海道からも注文が来るほどの人気商品だ。現在、奄美発着の航空機「スカイマーク」の機内で



「西郷松せんべい」「まめぼっくり」ともに、お土産品としても人気上昇中だ。

「西郷松せんべい」は、いのように感じたり、松に守られていると感じたりすることが多かった。自分の役割は、西郷松を守ることだと思ふようになった。松を守ることに人生の意味を感じたよ。」と語った。

記者たちもさわやかなキビユースに感動。澄んだ黄緑の見た目もさわやか。含む多くの人を惹きつける大きな力があつたのだろうか。私たちもこうして西郷松を取材したには何かの縁があるかもしれない。

西郷松に守られてきた実感

「西郷松があつたときは不思議なこと

が頻繁にあつた。」と岩崎さん。わざわざ島外から神懸かりにあつた様子で、西郷松を訪れた人も何人もいたという。岩崎さんは

現在「西郷松」は龍郷町の「りゅうがく館」入口に西郷と愛加那の木像となり町を見守っている。りゅうがく館は、龍郷町役場前の、歴史展示も充実した町の複合施設。皆さんもぜひ訪れてみては。〔諏訪・栄・内野・玉城〕



お店「西郷松本舗」の前景。「西郷松跡」客さん呼び寄せてくれる



鹿児島大学教育学部教授、池田直氏による木像(2014年制作)

クイズ コクト君とまーじんま!

Q. 大島高校の購買部で販売されているパンの人気ナンバー1はどれでしょう?

- ①メロンパン
- ②白身魚パン
- ③たこ焼きパン

★答えは6面にあるよ



青の舞い 伊津部応援団V

大島高校名物 体育祭特集



笠龍地区

▲(緑色)龍郷・笠利の各中学校の出身者で構成



下古地区

▲(紫色)小宿・大川・崎原の各中学校出身者、小宿中校区の住所の生徒で構成。



上方地区

▲(橙色)朝日中・芦花部中出身者、朝日中校区の住所の生徒で構成。



中南地区

▲(白色)大和・住用・宇検・瀬戸内の各中学校の出身者で構成。



金久地区

▲(黄色)金久中出身者、金久中校区の住所の生徒で構成。
※地区の並びは順不同

【感謝】この面の写真の多くは、理科の東先生と、担当の生徒の皆さんの撮影です。躍動感のある写真をありがとうございました。(大高ジャーナル)



伊津部地区

最優秀賞の伊津部地区(青色)(名瀬中出身者と離島の寮生)応援団の演舞 団長の山下晴輝君(3-1名瀬中出身)は、「優勝してうれしすぎました。個性が光る素晴らしいメンバーに感謝しきれません。」と団員への感謝の言葉を述べた。



9月2日(日)本校上部グラウンドにて、第70回体育祭が開催された。大島高校の体育祭は、全国的にも知らしい地区対抗で競われ、競技・応援ともに、各地区の名譽をかけた白熱したものとなる。今年度も、例年同様を送り、地域とともにある学校の活気に熱気あふれたものとなり、競技の部ある姿に喝采を送った。

たわら・ムカデは真剣勝負
大島高校はもろろん奄美大島におけるたわらとムカデは違う。地区運動会から市民体育祭につながる地区対抗の花形競技なのだ。だから、地区毎の先輩から後輩への指導も厳しく、その技は地区ごとに流儀があり門外不出だ。大高ジャーナルではそんな地域性あふれる競技について今後特集していきたい。(林)

競技の部 優勝「上方」

地区の名譽懸け熱戦

新記録フッシュ 3競技で新!

今回の体育祭では、応援の部の最優秀賞に伊津部地区が輝いた他、優秀賞は笠龍(のゆりのゆう)地区であった。競技の部では、上方地区が288点で1位、下古地区が259点で2位、笠龍地区が249点で3位となった。また、今回の体育祭で目を引いたのは、3つの種目で新記録が出たことだ。

まず、スウェーデンタテリレー(50mから300mまで6つの距離の区間のリレー)では、2分10秒81で前記録を1秒8縮めての新記録で上方地区が1位。女子俵運搬リレーでは、2分23秒26で前記録から1秒94縮めて笠龍地区が1位。ムカデリレーでは、2分18秒64で前記録を0秒51縮めての新記録で金久地区が1位に輝いた。

また、学級対抗リレーでは、3年4組が1位。クラス対抗種目「煙」(長縄跳び)では3年5組が1位となった。競技の部で優勝した上方地区の地区責任者の徳山拓磨君(3-7朝日中出身)は、「上方は競技の部を落とすことはない」「目標は優勝」ということを地区集会から団員に徹底しました。また、行進からしっかりするよう意識したのもよかった」と振り返った。

スウェーデンタテリレーに出場し1位になった上方地区の選手の前山康太郎君(3-6朝日中出身)は、「スウェーデンは上方」と言われてプレッシャーがすごかったが勝ててうれしいです。今回は女子生徒の活躍が勝因です。」と述べた。

「女子俵運搬」では、14連覇しかも新記録達成で、笠龍地区が1位となった。女子俵隊長の正木由佳さん(3-7赤木中出身)は、「14連覇のプレッシャーはすごく、他の地区の対抗心も伝わってきて緊張と不安いっぱいでしたが、1位にな

女子たわら「笠龍」14連覇達成



「目足(ムカデリレー)」で1位になった金久地区の内山純平君(3-7金久中出身)と久井小夏さん(3-5金久中出身)は、「新記録で勝利でき嬉しく、夢のようです。リレーの引き継ぎの練習に時間をかけたことが勝因です。本番でもノミズで引き継ぎができたことが良かったんです。」と語った。[森・若師・白高・森山・中村龍・諏訪・玉城・栄・林]



文武両道で好成績

空手道部
全九州新人 男子団体3位
全日本高校大学書道展 団体9位

書道部
 この夏休みから、2学期までの部活動、各種コンクール等での大高生の活躍はめざましく、陸上部の北村杏理さん(3-1)がインターハイに出場したほか、書道部が全国の書道展で9位に輝くなど、体育系文化系ともに活躍がみられた。また、秋の新人戦での空手道部の活躍や県ヒリオバトルでの活躍は、全国の舞台にながらなると今後、期待が高まった。()内の学校名は出身中。

夏秋の主な活躍

水泳部 (県高校新人大会) 男子200Mバタフライ3位 中村哲也(2-1) 女子200M(2金欠中)

背泳ぎ 3位 満水真希(2-1) 3名瀬中) 女子200M平泳ぎ 3位 永井杏奈(1-2) 小宿中) 女子400Mリレー 3地区予選) 優勝 (秋季大会)

県高校ヒリオバトル優勝 積風我(2年)

背泳ぎ 3位 満水真希(2-1) 3名瀬中) 女子200M平泳ぎ 3位 永井杏奈(1-2) 小宿中) 女子400Mリレー 3地区予選) 優勝 (秋季大会)

空手個人組手九州3位東倫久(2年)

9月に開催された国民体育大会(県立池田陸上補助競技場)で女子少年走幅跳(大高チーム)で優勝した時の一枚。



陸上部

大高一番星

本校の注目の生徒をクローズアップする「大高一番星」。今回は、8月に三重県で開かれた全国高校総体(インターハイ)に出場した北村杏理さん(3-1)に取材しました。

Q どんな練習を心がけてきましたか?
 A 「考えること」を常に意識しました。苦手種目やできない動きなどは理解できるまで何度も繰り返ししました。

Q 座右の銘は?
 A 「継続は力なり」です。陸上を始めたきっかけは何ですか?
 A 友達に負けたくなくて小6から始めました。本格的には中学からです。

Q 陸上の魅力は?
 A やりや目標達成できた時の嬉しさですね。大学でも競技を続けるという北村さん。これから活躍も楽しみです。(諏訪・内野)

島地区大会 準優勝
 バレーボール部 (大島地区高校体育大会男子) 優勝
 バドミントン部 (大島地区)

卓球部 (大島地区高校体育大会) 男子団体優勝 男子シングルス優勝 昇玲乃麻(1-1)

会) 高文連賞 重原日和(2-1) 龍南中)・中江沙綾(2-1) 朝日中)・伊藤真樹(2-1) 2小宿中)・宮田巴菜(2-1) 2小宿中) (県高校書道展) 高文連賞 森田稔(2-1) 朝日中)。



空手道部 九州3位の東倫久君(2-1) 5名瀬中) 県高校新人水泳競技大会が8月28日、霧島市で行われ、本校から11種目の競技で上位入賞を果たした。個人競技だけでなく団体競技においても好成績を残し、9月29日・30日に行われた全九州高校選手権新人水泳競技大会(熊本県)への切符をつかんだ。そんな水泳部の練習にお邪魔して、県大会・九州大会の感想や、今後の目標について取材した。

水泳部
 県新人大会では男子200Mバタフライ3位、男子100Mバタフライ4位という結果を出した。「県大会はラッククとして泳ぐことができた。九州大会に出場できるだろうという自信があったので、実際に決まった時は嬉しい嬉しかった。」と語る。

「次はインターハイ」

迎えた九州大会本番、慣れない場所での大会で、プールの温度の違い・移動や待ち時間での疲れ・人の多さなどに悩まされたという。「会場は本場に広く、初めての会場だったのですごく緊張した。」と中村君は振り返る。「そんな中でもせっかくの機会を大切にしたい」と他校の生徒部が楽しんだ。

顧問・監督の川畑祐一郎先生は、「決勝で競い合っている姿を見て、九州大会に行けるという自信があったので、出場を目標に、団体では女子とともにリレーで九州大会出場を目標に頑張りたい。そして全員で九州大会に行けるように、これからのオフシーズンの練習を無駄にしないようにしたい。」とも語った。普段の練習メニューは中村君が中心に考えていて、一人一人のレベルにあったメニューを細かく設定する他、飽きがかないように工夫をしているという。「練習の雰囲気はともかく、休憩と練習のメリハリが気に入っている。部員みんな仲が良く部活が楽しい。」と中村君。一人一人に合った練習、部員たちの仲の良さ、今後の水泳部が楽しみです。



中村君(左)と、川畑監督(右)



小野菜々(3-1) 2金欠中) (高校生フォーラム17歳から)のメッセージ) 奨励賞 ※ほか表彰多数につき主なものを掲載しました。

各種コンクール等 (九州国際大学) Team10 O作文コンテスト) 学校賞 入選 久井明花音(3-1) 7小宿中) (県高校生ヒリオバトル大会) 優勝 積風我(2-1) 6名瀬中) Bブロック優勝 保浦孝太郎(2-1) 朝日中) (平和へのメッセージ) ヨ知賢(1-1) チョコンテスト) 特選 松浦美悠(1-1) 2朝日中) 入選 泉みなみ(3-1) 金欠中) (高校生福祉文化賞エッセイコンテスト) 優秀賞

陸上部 (全九州高校新人大会) 男子団体形優勝 男子個人組手10kg級3位 東倫久(2-1) 5名瀬中) (大島地区高校体育大会) 男子団体形優勝 男子個人組手優勝 女子団体組手優勝 男子個人形優勝 里見大地(2-1) 名瀬中) (大島地区) 準優勝

陸上部 (全九州高校新人大会) 男子団体形優勝 男子個人組手10kg級3位 東倫久(2-1) 5名瀬中) (大島地区高校体育大会) 男子団体形優勝 男子個人組手優勝 女子団体組手優勝 男子個人形優勝 里見大地(2-1) 名瀬中) (大島地区) 準優勝

陸上部 (全九州高校新人大会) 男子団体形優勝 男子個人組手10kg級3位 東倫久(2-1) 5名瀬中) (大島地区高校体育大会) 男子団体形優勝 男子個人組手優勝 女子団体組手優勝 男子個人形優勝 里見大地(2-1) 名瀬中) (大島地区) 準優勝

陸上部 (全九州高校新人大会) 男子団体形優勝 男子個人組手10kg級3位 東倫久(2-1) 5名瀬中) (大島地区高校体育大会) 男子団体形優勝 男子個人組手優勝 女子団体組手優勝 男子個人形優勝 里見大地(2-1) 名瀬中) (大島地区) 準優勝

悠里のエッセイ Vol.1

ゆるゆるり

勉強に部活動に忙しい日々を送る、奄美大島の普通の高校生の日常の思いを切り抜きました

青春

何かに失敗し肩を落としてながら歩いた帰り道。悩み続けても答えが出なくて、すべてを投げ出し

歌を口ずさんでしまった帰り道。今日も一日やりきった、と胸を張って歩いた帰り道。私たち高校生は様々な想いを抱えながら家へ帰る。朝はとうとうと、寝ぼけた目を擦りながら制服に着替え、朝ご飯をかき込み、歯を磨いて朝課外に間に合うように精一杯走る、走る。毎日繰り返される私たちのような日々を見ている大人からはよく、「青春だね」なんて言われたりもする。

人生のある期間のことではなく心の持ち方を言うこと。ここで話は変わるが、私たち奄美大島に住む学生ほとんどは高校を卒業したら一度島を出なければならぬ。この島には大学が無いからだ。島を出た人たちはみな口々に言う。「外に出て初めてようやく奄美の良さ、奄美にある自然がどれほど素晴らしいものか分かってきた」と。今は身近にあり過ぎて、その有難みに気づくことがまだ難しいこの奄美の豊かな自然。絶えず繰り返されることで、その存在自体が当たり前になってきた何気ない足元の日々。一見、閑

青春の想い、その想いが形になった時、心からの笑顔が生まれるのかもしれない。 (すずか)



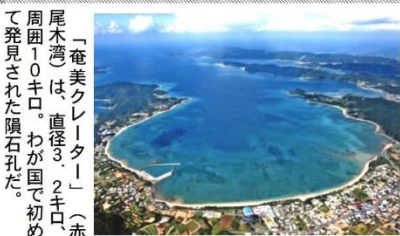
まんぢゅ 釣り人発見

大高メンスの休日と言えは「釣り」。南洋の澄んだ海と青空に抱かれて釣りは島人(しまんぢゅ)の心もお腹も満たす最高の趣味。そんな趣味に興じる高校生釣り人と、とっておきの釣りの情報を紹介する。



田畑航一郎君 (2-2) 好きな釣り=フカセ釣り

カンモンハタは主に南日本、インド洋・太平洋域の浅い岩礁域に生息している。釣りの方法としては、仕掛けにウキを使用せずエサやハリ、糸の重さだけで仕掛けを海中に漂わせて魚を誘うこと。



北東部に位置する、龍郷町の東端の赤尾木(あかおぎ)。奄美大島の「くびれ」と言われる「赤尾木地峡」を形成しており、奄美大島の観光名所でも知られている「ハートロック」も赤尾木にある。



今回の獲物カンモンハタ(イシネバリ)

奄美大島はネバリだけじゃない。春にはカンパチや金目鯛。夏にはアオリイカやアカハタ。秋にはウルメやシマアジ。冬にはカサゴやアカムツなどの魚介が豊富だ。

クイズ コト君とまーじんま! の答えだよ。 (答え) ②白身魚パン

「メロンパン」(120円)、厚みのある白身魚フライが挟まれた「たこ焼きパン」(145円)とのこと。(値段はスガが絶妙だよ!ぜひ君も試してみてね!)



タルタルと辛マヨネーズのハニーが美味(白身魚パン155円)



店内は、まるでリゾートになっている。また、ワゴンイン500円のランチもあって、そのランチ用のパンケーキ「ダッチベイビー」はナールのオリジナル。砂糖を使わず、もっと多くの人にその魅力を知ってもらいたいですね。

営業時間 11時00分〜20時00分 1時03分〜3時 火曜定休 名瀬入舟町11-12 シティハウスビル2階 ジョイフル奄美入舟店前さく

大高生の青春のクイズを紹介する「放課後ぐるぐるめ」。美味しくて、お財布にやさしく、そしてインスタ映えするの3拍子そろった学校近くの名店を紹介する。今回訪れたのは、パンケーキ店「レバンケーキ」。

レバンケーキ。高校生に人気なのはブレインやチョコバナナだとか。どのメニューも果物をたっぷりに使ったボリューム満点の品々だ。もちろんインパクトある見た目は、インスタ映えすること間違いなし!素材の多くを奄美産にこだわって、生地はベーキングパウダーを使わず卵白(ヌレンゲ)のみでふくらましていて、手間暇かかるともいって、とてもふっくらと甘い仕上がりに写真が「手作りパンケーキ」500円、ハンバーグなどが、甘くないパンケーキの中に盛り込まれている。

本格的なパンケーキをほとんど1000円以下で食べることが出来るナール。「これからはメニューもどんどん増えていくので、お友達、家族で、気軽に利用して下さいね。」とのこと。皆さんレバンケーキを一度味わってみては?

白高・里

放課後 ぐるぐるめ



記者がいただいたパンケーキ「ピーチ」。白桃まるごと1個と、ヨーグルトとローズヒップのソースが甘酸っぱい美味しさ。外はサクサク中はふわふわ。このボリュームで980円。

「観光客のわかっていて『観光客のお客様には、』とよく言われます。ですが、高価なメニューのパンケーキをリーズナブルに提供して、もっと多くの人にその魅力を知ってもらいたいですね。」

白高・里